

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
【管理部門】		
《庶務・会計係》		
(1) 会務の運営		
① 役員会等の開催		
(ア) 理事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 4～6回 ・感染症への対応が変更となるが、理事の参加環境に配慮し、引き続きオンライン併用による開催とする。 ☆令和4年度に実施したアンケートを参考に、令和7年6月任期満了時に向けた選出区分及び定数の検討の開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数6回 (オンライン併用：3回) 理事 ：参集22人、OL2人 監事 ：参集4人、OL3人 (参集：3回) 理事：27人、監事4人 ☆市場金利の変動が大きくなってきたことから、専門家による債券に関する研修を理事会において実施した。 (資料編P1～P3参照)
(イ) 監事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 1回 ☆活発な意見がいただけるような資料作成の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数1回 ☆県福祉監査課作成のチェックリストを活用し実施した。 (資料編P3参照)
(ウ) 評議員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 3～4回 ・感染症への対応が変更となるが、評議員の参加環境に配慮し、引き続きオンライン併用による開催。 ☆令和7年6月任期満了時に向けて、選出区分及び定数の検討の開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数4回 (オンライン併用：2回) ：参集42人、OL4人 (参集：1回) ：16人 (資料編P3～P4参照)
(エ) 評議員選任・解任委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 適宜 ☆後任人事の選任にあたっては、定款に定められている定数を勘案しながら、適宜実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数2回 ・委員辞任により、後任人事3名を選任した。 (資料編P4参照)
(2) 人材育成		
① 職員の資質向上のための仕組みの構築		
(ア) 職場研修推進会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ☆第3次発展・強化計画に規定する「職員育成推進PT」において、本会議も含め職員育成の在り方を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインフォーラムで適宜情報を共有した。 ・研修情報は各係長に提供し、受講要否は研修計画に照らし各係長に委ねた。
(イ) 職員の資格取得の支援 (補助金交付等)	<ul style="list-style-type: none"> ☆第3次発展・強化計画に規定する「職員育成推進PT」において、本制度も含め職員育成の在り方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用なし

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)	
② 職場研修の充実	(7) 全体研修の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 1回 ・職員全員が共通認識し、スキルアップ、一体感の醸成、コミュニケーション、連携する意識の恒常を目指す ☆常に啓発を要する事項は、専門職の協力により短時間の動画の作成及び配信。 ☆中長期的に検討を要する事業に関する研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主査以上職員9名を対象に、社会保険労務士によるコミュニケーション研修を実施した。
	(4) 職員の自己啓発活動の支援（補助金交付等）	<ul style="list-style-type: none"> ☆第3次発展・強化計画に規定する「職員育成推進PT」において、本制度も含め職員育成の在り方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用なし
③ 専門職を目指す人材の育成	(7) 社会福祉現場実習の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生を受け入れ、社会で活躍できる専門職を育成する。 ☆実習指導者の増員を目指す ☆特に長期間にわたりかつそのための資格取得が必要な実習指導の主担当をした職員に対し、手当を支給できるように制度を調える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ1件 ：派遣元 目白大学 ：期間 8/17～9/22 24日間 ・実習指導担当職員への手当支給に関する要綱を設置した。
	(3) 財務		
① 財源確保	(7) 地域福祉基金の運用	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した財源であることから、金利の上下により売却を検討することなく、このまま運用をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・債券運用による地域福祉基金運用益 7,000千円/年 ・基金取崩の予算としているが、取り崩しに至っていない ☆市場金利の変動が大きくなってきたことから、専門家による債券に関する研修を理事会において実施した。
	② 会費制度への理解促進と会員の増強	(7) 一般会費（対象：一般世帯）	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を通じて、広く市民に本会の目的の趣旨に賛同いただき、一般会員としての支援を得る。 ・生活保護世帯を除く自治会加入1世帯あたり200円。
(4) 特別会費・団体会費（対象：個人、事業者等）		<ul style="list-style-type: none"> ・本会の目的の趣旨にご賛同いただき、財政面で地域福祉活動に参加していただく。 ・前年度協力先に、前年度実績での協力を依頼（特別会員：1,000円/口、団体会員：15,000円/口） ☆財務強化PTと共に、協力先の増強を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内個人、事業者等に継続してご協力いただいた。 ：協力 333人、109団体 ：総額 1,056,000円

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(4) 職員の福利厚生		
① 職員の健康管理		
(7) 衛生委員会の定期開催	<ul style="list-style-type: none"> ・法的義務。健康障害の防止を図るため職場の衛生に関することについて調査、審議、対策の樹立。 ☆感染症下のフォーラム方式から、参集方式に変更して開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 労働衛生に関する情報配信8件、参集による衛生委員会を1回開催した。
(4) 職員健康診断及びストレスチェック制度の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・法的義務。職員の健康状態、ストレスの程度を把握し、職員自身の体調変化への気付きを促すとともに職場改善につなげ働きやすい職場づくりを進めることで職員の健康増進及びメンタルヘルス不調を未然に防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 47人受診 ・人間ドック補助 10人 ・ストレスチェック 34人
(5) 第3次発展・強化計画への取り組み及び進捗管理【重点事業】		
① サービス、活動の強化		
(7) サービスの質の向上 ①業務標準化PTによる検討 ②事例検討会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・業務標準化プロジェクトチームの再編 ・事例検討会の月1回の定期開催。それに併せてニーズ分析も併せて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不実施
(4) 広報の強化 ①外部メディアを通じた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ☆飯能日高テレビ・文化新聞・ミニコミ誌・自治会広報紙、ボランティア団体広報紙等との連携についての検討及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時ローカルメディア、広報はんのうを通じて実施した。
② 働きやすい職場環境の整備		
(7) 業務の合理化、効率化 ①事務局組織機構のあり方の検討 ②事務局組織機構の改革 ③職務権限規程の制定	<ul style="list-style-type: none"> ☆月1回程度のペースで、主幹以上職員による検討の実施（令和5年12月開催理事会上程を目指す） 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回程度のペースで、主幹以上職員による検討を実施。 ・令和6年12月開催理事会上程を目指し、引き続き検討していく。
(4) 働きやすい職場づくり ①事業計画説明会の実施（1回） ②職員の健康と安全の確保に関する取組の検証（1回） ③ワークライフバランスの取組みの検証（1回） ④個別面談の実施（2回） ⑤サービス利用者等からの外部評価の導入 ⑥職員アンケート調査の実施 ⑦福利厚生事業の再編	<ul style="list-style-type: none"> ①・年1回、年度当初に開催 ☆事業計画の理解及び係間連携を目的に開催する。 ②衛生委員会の定期開催 ③4半期ごとに職員個別に有給休暇の取得状況の報告 ④これまで同様、非常勤職員年3回、常勤職員年2回を目途に実施する。 ⑥⑦令和4年度に県内市社協対象に実施したアンケート結果を分析し、福利厚生事業のあり方の検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和5年4月に事業計画説明会を実施。事例検討を通して、他系の業務理解と連携方法について協議した。 ②参集により衛生委員会1回、その他労働衛生に関する情報配信8回。 ③4半期ごとに、主査以上会議で職員の年次有給休暇取得状況を報告と取得促進を行い、必要日数の有給休暇取得を全職員が達成した。 ④非常勤職員2回、常勤職員1回の面談を実施した。 ⑤⑥不実施 ⑦当該業者の調査等は実施したが、具体的な検討が出来ていない。

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)	
③ 組織基盤の強化	(7) 生活福祉ニーズの把握 ・分析と新たな取組みづくり ①ニーズ分析会議設置 ②新たな取組みの開発	・ ニーズ分析会議を設置し、新たな取組み1つを令和6年度にスタートできるよう検討	・ 不実施
	(4) 社会福祉法人組織としての体制整備 ①会長職のあり方に関する検討と方向性の決定	・ 5-②-(7)の3つの取組と併せて検討	・ 令和5年2月に県内市社協に組織体制に関するアンケート調査を実施。これを分析し、令和6年12月理事会に方向性を提示できるよう、理事会において協議を進めていく。
	(9) 財務の強化 ①財務強化PTの設置	・ ニーズ分析会議と連携して地域の福祉ニーズを充足する新たな取組みの検討 ・ その財源確保策の検討《予算への反映》 ・ 財源確保における先進社協等の取組みの分析《5か所程度を分析》	・ ニーズ分析会議が不実施 ・ 当期は財源確保に向けたアセスメントの実施年と位置付け、財務分析計算シート（全社協提供）を作成し、主査以上職員に共有した。 ・ アセスメントに基づき、共同募金会飯能市支会事業計画の策定方針において、独自目標額を設定した。 ・ 先進社協の分析については不実施
	④ 計画の進捗管理	(7) 計画の適切な推進の取組み	・ 本計画（進捗状況を含む）および単年度事業計画を市民に公表（ホームページ、広報紙等）
(6) その他の事業			
① 法外援護事業			
	(7) 火災見舞金の支給	・ 火災により損害を負った世帯の生活の立て直しの一助となるよう、迅速に見舞金を支給	・ 全焼世帯2件に対して合計60,000円の見舞金を支給した。
	(4) その他の法外援護	本会が住民のセーフティネット機能を果たしていくために、住民が不測かつ生命の危機に瀕する事態に対応	・ 対応なし
② 団体事務			
	(7) 飯能市身体障害者福祉会	・ 会の自立運営のための側面的支援	・ 定期総会資料作成 ・ 役員会を2回開催し、会の方向性について検討。 その結果、会員数の減少及び在籍会員の高齢化により自立運営が見込めない会のあり方について会員にアンケートを行ったところ、解散を決定した。
③ 補助金の交付			
	(7) 地域福祉活動等推進事業補助金	・ 市民による地域福祉の向上を目的とした活動の奨励 ☆活動団体の利便性を高めるため、要綱の改正の実施	・ 前期2件、後期1件の申請、交付決定した。
	(4) 社会福祉団体補助金	・ 市内において活動する社会福祉団体の活動の支援	・ 申請のあった人権擁護委員協議会、民生委員児童委員協議会に対し合計900,000円の補助金交付を決定した。

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	④ 危機管理体制の強化 (7) BCPの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害、感染症等、組織運営が困難な状況を想定の上、事務事業継続計画の策定 ・事業所職員と定期的な情報共有の場の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有を行うための事業所職員の選定を行えなかったため、策定に至っていない。

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
≪施設管理係≫		
(1) 身体障害者福祉センター		
① 相談支援の充実		
(ア) 相談支援対応	・センター開所日に実施 ・相談内容に応じ、本会内及び関係機関との連携強化 ☆実績把握のために、相談内容の記録作成	1件対応
② 機能回復のための各種訓練等		
(ア) 理学療法士指導	・理学療法士の指導により、日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に訓練を実施 ・月1回、参加者数毎月15名	・毎月第3水曜日、年12回実施 ・延べ102人参加
(イ) 療育音楽教室	・音楽療法士の指導により、楽器や発声訓練を通じて日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に実施 ・月1回、参加者数毎月6名	・原則第1・3月曜日、年22回実施 ・延べ78人参加
(ウ) 機能回復訓練	・日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に理学療法士が利用者個別に作成したプログラムに基づき、看護師が指導 ・火曜日～金曜日、午前実施 ・参加者数毎月20名	・152回実施 ・延べ412人参加
(エ) ヘビーハンズ教室	・専門の講師による有酸素運動や筋トレ実施 ・月1回、参加者数毎月8名	・原則第2・4木曜日、年23回実施 ・延べ95人参加
(オ) 生活行動訓練	・障害者の日常生活に必要な外出行動の訓練及び参加者の交流 ・年1回、参加者数10名	・実施なし
(カ) 送迎サービス	・地域活動支援センター利用者の送迎	・710回実施 ・延べ1,315人利用
③ 障害者スポーツ・レクリエーション活動及び創作的活動の普及		
(ア) 福祉スポーツ大会 (再掲)	・パラスポーツ等の実施により、障害者及びその家族との相互理解及び相互交流の深耕 ・年1回、参加者数200名	・10/21(土)実施 ・178人参加
(イ) パラスポーツ体験会	・パラスポーツの普及及び指導者の育成 ・年1回、参加者数20名	・3/9(土)カーレット体験を実施 ・60人参加
(ウ) パラスポーツ教室	・パラスポーツ「ポッチャ」の普及及び参加者の相互親睦の深耕 ・月1回、参加者数毎月15名	・原則毎月第3日曜日、年11回実施 ・延べ266人参加

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(イ) 障害児者造形教室	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動による社会参加の機会の提供及び参加者家族の交流の促進 ・毎月2回、参加者数毎回6名 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2土曜日、年11回実施 ・同日のなかで、前半が成人、後半が児童で実施。 ・延べ81人参加
(オ) 書道教室	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動による社会参加の機会の提供 ・毎月2回、参加者数毎回6名 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則毎月第1、3木曜日に実施 ・22回実施 ・延べ102人参加
(カ) レクリエーション教室	<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練の一環としてグラウンドゴルフを実施 ・月1回、参加者数5名 	<ul style="list-style-type: none"> ・6回実施 ・延べ20人参加
④ ボランティアの養成及びボランティア活動の支援		
(ア) 手話奉仕員養成講座入門課程	<ul style="list-style-type: none"> ☆厚生労働省で定めるカリキュラムにより開催 ・聴覚障害や手話の理解 ・将来的な手話奉仕員や通訳者の人材育成を目指す。 ・年2回（昼・夜、各18回）参加者数15名 	<ul style="list-style-type: none"> （昼の部） 18回実施 延べ195人参加 （夜の部） 18回実施 延べ182人参加
(イ) 手話奉仕員養成講座基礎課程	<ul style="list-style-type: none"> ☆厚生労働省で定めるカリキュラムによる開催 ・入門課程修了者対象 ・手話理解の深耕及び特定の聴覚障害者との手話による日常会話の習得 ・将来的に通訳者の人材育成を目指す。 ・年2回（昼・夜、各23回） 	<ul style="list-style-type: none"> （昼の部） 21回実施 延べ238人参加 （夜の部） 21回実施 延べ284人参加
(ウ) 手話体験	<ul style="list-style-type: none"> ・手話人口の裾野を広げるために手話に興味がある方及び初めて手話に触れる方を対象に開催 ・年2回（3回コース）参加者数各20名 	<ul style="list-style-type: none"> ・6回実施 ・延べ65人参加
(エ) 点訳ボランティアはじめの一歩講座	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害や点訳の理解及び点訳ボランティアの育成 ・年1回（5回コース）参加者数10名 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月～3月に5回実施 ・延べ17人参加
⑤ 交流事業の推進		
(ア) 福祉スポーツ大会（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツ等の実施により、市民参加による障害者及びその家族との相互理解及び相互交流の深耕 ・年1回、参加者数200名 	<ul style="list-style-type: none"> ・10/21（土）実施 ・178人参加

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
⑥ 啓発の充実		
(ア) パラスポーツ体験会 (再掲)	・パラスポーツ「ポッチャ」の普及及び競技指導者の育成 ・年1回、参加者数20名	・3/9(土)カーレット体験を実施 ・延べ60人参加
⑦ 障害に配慮したきめ細やかな対応		
(ア) 聴覚障害者窓口総合支援のための遠隔手話タブレット端末設置	・聴覚障害者来館時のコミュニケーションツールとして設置 ・年間利用20件	・利用件数 3件
(イ) 車いす無料貸与事業	・けが、病気等により一時的に車いすが必要な方に最大3か月間貸与。 ・貸与にあたり、点検整備を常時実施	・貸出件数 93件
(2) 老人福祉センター		
① 生活、健康等の相談及び見守り		
(ア) 健康はつらつ講座 (腰痛・ひざ痛の予防講座)	・専門講師からロコモティブに関する講義及び実践を学び、運動機能の低下防止と生活の質の維持向上を図る。 ・年1回、参加者数30名	・9/7(木)実施 ・20人参加
(イ) 笑いヨガ教室	・高齢者が健康で安定した生活を送れるよう仲間づくりを図るとともに笑いヨガを学ぶことで健康寿命を延ばす。 ・年1回、参加者数20名	・2回実施 ・33人の申込み、延べ45人参加
② 教養の向上及びレクリエーション		
(ア) シニアかんたんヒップホップ教室	・専門の指導者による、様々なことを楽しみながら学ぶ機会の提供	・4回実施 ・延べ58人参加
(イ) スマートフォン活用講座	・講座参加による社会参加、教養の向上、介護予防、仲間づくりを目指す。 (ア)年4回、参加者数20名	・5/23、午前午後に分けて2回実施 (午前)アンドロイド 10人 (午後) iPhone 9人
(ウ) ノルディックウォーク体験講座	(イ)年4回、参加者数20名 (ウ)年1回、参加者数各20名	・7/12(水)実施 ・14人参加
(エ) いけばな教室	(エ)年3回、参加者数各15名 (オ)年6回、参加者数20名 (カ)年3回、参加者数20名	・6月に2回、12月に1回 計3回 ・延べ34人参加
(オ) 初心者ウクレレ教室		・4回実施 ・延べ94人参加
(カ) 終活講座		・2回実施 ・延べ50人参加
(キ) スマホわいがやサロン	・参加者相互に、スマートフォンの操作等について教え合いながら、交流の深耕を図る。 ・参加者数10名	・7月から月に1~2回、年16回実施 ・延べ130人参加
(ク) シニアサロン支援	・定例開催の居場所の参加者増及び回数増を図れるよう、サロン主催者と協議	原則毎週木曜日に集会室で実施
(ケ) 囲碁講座	・囲碁の活動を通じた教養の向上と生きがいの増進と登録団体活動の活性化 ・年4回、参加者数20人	・4回実施 ・延べ62人参加
③ 生きがいづくり活動の支援		
(ア) 創作品展	・館内活動団体の作品の展示の場の提供による活動意欲の向上及び生きがいづくりへの寄与	・総合福祉センターを会場に10団体、605作品を展示

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
④ 地域高齢者リーダーの育成	(ア) 総合福祉センター発表会2023	・センター利用団体の発表の機会の創出 ・実施にあたり可能な限り自主運営となるよう、利用者のリーダーシップを促進
		・11/2(木)実施 ・8団体出演 ・110人参加
(3) 児童センター		
① 遊びの提供		
(ア) 工作ひろば	・工作の場を常設し、毎月特定の期間でテーマを設定 ・年間参加者960名以上	・268回実施 ・延べ1,656人参加
(イ) 小学生タイム	・屋上を解放し、大縄跳びや鬼ごっこ等の集団遊び、また竹馬などの個別遊びの実施 ・毎月1回、年間参加者84名以上	・11回実施 ・延べ150人参加
(ウ) 児童センター〇×クイズ	・クイズを通じて児童センターの利用ルールを啓発 、併せてモラル向上による快適な遊び場の提供	・20回実施 ・延べ110人参加
(エ) なぞなぞ	・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題 ・6月に20日間実施	・19回実施 ・延べ173人参加
(オ) ハロウィンウィーク	・季節のイベントを継続的に実施、体験による豊かな心の醸成とリピーターの獲得 ・10月に20日間実施	・20回実施 ・延べ296人参加
(カ) 脳トレゲーム	・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題 ・12月に14日間実施	・14回実施 ・延べ195人参加
(キ) 新春お正月遊び	・日本の伝統的な遊びを通じて文化由来の学びと次世代への継承 ・年初に開催	・2回実施 ・延べ57人参加
(ク) れんそうゲーム	・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題 ・2月に16日間実施	・16回実施 ・延べ102人参加
(ケ) イースターエッグをさがそう	・リピーター獲得を目的に、特定期間、継続的にクイズを出題 ・3月に13日間実施	・13回実施 ・延べ266人参加
② 健康の増進		
(ア) げんきっず	・器具等を使用した運動遊びを通して、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る。	・10回実施 ・延べ82人参加
(イ) キッズたいそう	(ア)毎月1回、参加者数各回3組	・8回実施 ・延べ124人参加
(ウ) トコトコキッズたいそう	(イ)2期（各期4回）、参加者各20組 (ウ)2期（各期2回）、参加者数各15組	・4回実施 ・延べ39人参加
(エ) かんたん！スポーツテスト！	・小学生以上を対象とした体力づくりを目的とした体力測定の実施 ・毎月1回、参加者数年間70名	・13回実施 ・延べ138人参加
(オ) 子どもハイキング	・飯能の自然に触れ、歩く楽しさを味わう ・11月実施、参加者数12名	・1回実施 ・参加者7人（小学生6人）

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
③ 豊かな情操の育み		
(ア) おはなしタイム	・職員による親子手遊び、ふれあい遊び、歌遊び ・開館時随時実施	・4回実施 ・延べ35人参加
(イ) 子ども習字教室	・小学校休業期間中に実施 ・創作活動や日本の伝統文化に触れることに	・1回実施 ・11人参加
(ウ) 夏休み将棋教室	より心の豊かさを醸成する (イ)夏1回、参加者数15名	・1回(3日間)実施 ・延べ46人参加
(エ) 絵画教室	(ウ)夏1回(3日間)、参加者数10名 (イ)夏1回、参加者数15名	・1回実施 ・19人参加
(オ) 陶芸教室	(ウ)夏1回、参加者数15名 (ハ)夏・春各1回、参加者数各10名	・2回実施 ・延べ32人参加
(カ) サイエンスクラブ	(キ)夏1回、参加者数15組 (ク)冬1回、参加者数15名	・2回実施 ・延べ34人参加
(ケ) 夏休み親子木工教室		・1回実施 ・24人参加
(コ) 子ども書初め教室		・1回実施 ・10人参加
④ 子育て家庭の支援		
(ア) おすわりフォト	・子どもの成長を感じ喜ぶことで、親子の愛着形成を促す。 ・月3回程度、参加者数各5組	・29回実施 ・延べ404人参加
(イ) おそとであそぼ!	・屋上で遊具や体操などの外遊び ・年3回、参加者数各5組	・2回実施 ・延べ10人参加
(ウ) 3さいひろば	・発達に応じた遊びの提供による発達の促進 ・親子での様々な経験による親子の愛着形成	・9回実施 ・延べ73人参加
(エ) 2さいひろば	の促進 (ウ)1期(9回)、参加者数各15組	・6回実施 ・延べ74人参加
(オ) 1さいひろば	(イ)2期(各期3回)、参加者数各15組 (ウ)2期(各期2回)、参加者数各10期	・4回実施 ・延べ42人参加
(カ) 0さいひろば	(ハ)3期(各期2回)、参加者数各8組	・6回実施 ・延べ87人参加
⑤ 地域との連携、市民との協働		
(ア) おもちゃの病院	・おもちゃドクター(ボランティア)による、壊れたおもちゃの修理 ・偶数月、受入れおもちゃ各15個 ・飯能市おもちゃの病院ボランティアと入間市おもちゃの病院ボランティアによる協力 ☆美杉台児童館でおもちゃドクター養成講座実施	・6回実施 ・延べ修理依頼117点
(イ) 子ども将棋クラブ	・日本伝統文化を継続的に学ぶことによる集中力や思考力の醸成を図る ・飯能市将棋連盟ボランティアによる指導 ・通年実施、参加者数8名	・21回実施 ・延べ318人(見学会含む)参加
(ウ) ミニサイエンスクラブ	・科学実験の体験による、科学への興味の促しを図る ・不定期開催	・4回実施 ・延べ50名参加
(エ) 遊びのひろば「かざぐるま」	・ボランティアグループによる読み聞かせや歌遊びなどの公演 ・年1回、参加者数10名以上	・1回実施 ・17人参加

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	(d) 遊びのたんけん隊 ・小学生を対象にした、ボランティアグループによる工作活動や運動、ゲームの実施 ・ボランティアグループ遊びのひろば「かざぐるま」による指導 ・夏・春各1回、参加者数各15名	・2回実施 ・延べ34人参加
	(h) みんなの自習室 ・小学生の学習のつまずきの解消の一助を目的に実施 ・学校教員経験者（ボランティア）との関係構築	・4回実施 ・延べ11人参加
	(k) 児童センターボランティア体験 ・中学生以上対象、児童センター業務のボランティア体験 ・随時、1名程度の受け入れ	・6回実施 ・延べ6人参加 ・児童センターで行う事業の準備等を中心に業務体験をしてもらった。
⑥ 児童の居場所の提供		
	(ア) ハッピーバースデー ・児童の誕生日を祝うことによる自己肯定感の育成 ・開館中、自己申告により随時対応	・69回実施 ・延べ213人参加
	(イ) イベントスタッフ ・小学3年生以上対象、児童センターでのイベントの企画、運営 ・5月～3月、参加者8名	・23回実施 ・延べ59人参加（見学含む）
	(ウ) イベスタゲーム大会 ・イベントスタッフ企画によるゲーム大会 ・夏・春各1回、参加者各15名以上	・1回実施 ・37人参加
	(エ) わくわくクリスマスパーティー ・イベントスタッフ企画によるクリスマスパーティー ・年1回（12月）、参加者12名以上	・1回実施 ・28人参加
(4) 美杉台児童館		
① 遊びの提供		
	(ア) みんなであそぼう ・コミュニケーション能力、想像力を高められるよう、造形活動や遊びを提供 ・不定期、実施時10名以上	・40回実施 ・延べ494人参加 ・七夕の短冊飾りやスイカ割りゲーム、クリスマスの折り紙制作、正月遊びの羽根つきなど季節感のある遊びやゲーム、折り紙を提供
	(イ) およこパススポーツ体験教室 ・親子での様々な経験による親子の愛着形成の促進及び障害者理解の深耕 ・夏・春各1回、参加者数各20人	(1回目) ・ポッチャ体験 ・13人参加 (2回目) ・フライングディスク体験 ・12人参加
	(ウ) 科学遊び ・科学実験の体験による、科学への興味の促しを図る ・夏・冬各1回、参加者各10人	・2回実施 ・延べ20人参加 ・館長が下記内容で実施 1回目「空気は何者？」 2回目「磁石の不思議」
	(エ) ハロウィンウィーク ・季節のイベントを継続的に実施、体験による豊かな心の醸成とリピーターの獲得 ・10月に6日間実施（1回10人） ・日毎に課題を変えたスタンプラリーの実施	・7回実施 ・延べ131人参加
	(オ) クイズにチャレンジ ・リピーター獲得を目的に、継続的にクイズを出題 ・通年実施 ・月替わりでなぞなぞや間違い探しクイズの実施	・53回実施 ・延べ1,106人参加

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 健康の増進 (ア) ママと赤ちゃんのリラクスタイム (イ) 3B体操 (ウ) 親子リズム体操 (エ) ちびっこ体操 (オ) わくわく体操	・親子の絆の深耕と心身の健康のため、ヨガインストラクター指導による、ベビーマッサージ及びママヨガの実施 ・年6回、参加者各8組 ・器具等を使用した運動遊びを通して、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る。 (イ)年6回、参加者10組 (ウ)年6回、参加者10組 (エ)年5回、参加者10組 (オ)通年不定期	・6回実施 ・延べ54人参加 ・6回実施 ・延べ67人参加 ・6回実施 ・延べ91人参加 ・5回実施 ・延べ86人参加 ・10回実施 ・延べ104人参加。
③ 豊かな情操の育み (ア) 誰でも描ける水彩画 (イ) 陶芸教室 (ウ) レザークラフト教室 (エ) お楽しみイベント (オ) スイーツデコ (カ) リトミック (キ) 日本の文学で楽しもう (ク) 浴衣の着付け教室 (ケ) ソロバン教室 (コ) ビーズクラフト体験 (サ) スライムづくり (シ) 大型折り紙	・小学校休業期間中に実施 ・創作活動や文化イベントに触れることにより心の豊かさを醸成する (ア)夏1回、参加者数7名 (イ)夏3回、参加者数各7名 (ウ)夏1回、参加者数7名 (エ)夏1回、参加者数100名 (オ)夏1回、参加者数7名 ・音楽を通しての遊びにより、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る。 ・年5回、参加者10組 ・学校休業期間中に、学習支援ボランティアの協力により実施 ・創作活動や日本の伝統文化に触れることにより心の豊かさを醸成する (キ)夏1回、参加者数7名 (ク)夏1回、参加者数7名 (ケ)夏1回、参加者数7名 (コ)夏1回、参加者数7名 ・学校休業期間中に、職員により実施 ・リピーター獲得を目的に、日常で体験できない活動を提供 ・共に夏1回、参加者数7名	・1回実施 ・11人参加 ・3回実施 ・51人参加 ・1回実施 ・24人参加 感染予防のため不実施 ・1回実施 ・17人参加 ・5回実施 ・延べ85人参加 ・1回実施 ・4人参加 百人一首で楽しんだ。 ・1回実施 ・6人参加 初めて高校生の参加あり ・1回実施 ・17人参加 ・1回実施 ・15人参加 ・1回実施 ・86人参加 ・1回実施 ・36人参加

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
④ 子育て家庭の支援	<p>(ア) 1さいクラブ ・発達に応じた遊びの提供による発達の促進 ・親子での様々な経験による親子の愛着形成の促進</p> <p>(イ) 2さいクラブ (ア)2期 (3回)、参加者数各6組 (イ)1期 (6回)、参加者数10組 (ウ)1期 (6回)、参加者数10組</p> <p>(ウ) 3さいクラブ</p> <p>(エ) メイブルーム ・未就園児の居場所として、親子間及び保護者同士の交流を図る。 ・毎月1回、参加者数4組</p> <p>(オ) ハッピータイム ・音楽や体操を通じて、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る。 ・月4回、参加者10組</p>	<p>・5回実施 ・延べ40人参加</p> <p>・5回実施 ・延べ70人参加</p> <p>・6回実施 ・延べ104人参加</p> <p>・10回実施 ・延べ161人参加</p> <p>・4回実施 ・延べ76人参加</p>
⑤ 地域との連携、市民との協働	<p>(ア) おはなしの会「くれよん」 ・ボランティアグループによる読み聞かせ ・月1回、参加者数各4組</p> <p>(イ) おもちゃの病院 ・おもちゃドクター (ボランティア) による、壊れたおもちゃの修理 ・奇数月、受入れおもちゃ各15個</p> <p>(ウ) おもちゃドクター養成講座 ・おもちゃの病院で活躍していただく「おもちゃドクター」の養成 ・参加者数8名以上</p> <p>(エ) 子ども将棋クラブ ・日本伝統文化を継続的に学ぶことによる集中力や思考力の醸成を図る ・通年実施、参加者数10名</p> <p>(オ) おはなしグラマ ・小学生を対象にしたボランティアグループによる読み聞かせ ・月1回、参加者数各5人</p> <p>(カ) 児童館体験事業 ・中学校や高校の依頼による、社会体験事業 ・学校の依頼により随時対応</p> <p>(キ) 子ども卓球クラブ ・3年生以上の小学生を対象にした、地域のボランティアによる卓球指導 ・毎月2回、参加者数各10人</p>	<p>・11回実施 ・延べ142人参加</p> <p>・6回実施 ・延べ97人参加</p> <p>・2回実施 ・延べ16人参加</p> <p>・18回実施 ・延べ107人参加</p> <p>・10回実施 ・延べ120人参加</p> <p>・2回実施 ・延べ554人参加 美杉台小のスタンプラリー</p> <p>・16回実施 ・延べ129人参加</p>
⑥ 児童の居場所の提供	<p>(ア) スタディールーム ・小学生の学習のつまずきの解消の一助を目的に実施 ・学校教員経験者 (ボランティア) との関係構築</p> <p>(イ) 児童館ボランティア ・小学4年生以上による児童館業務のボランティア体験 ・随時受け入れ</p> <p>(ウ) 新一年生集まれ! ・地域の新小学1年生を対象に、施設の利用方法の周知を目的に実施</p>	<p>・25回実施 ・延べ66人参加</p> <p>・7回実施 ・延べ21人参加</p> <p>・4回実施 ・延べ125人参加</p>

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(5) 共催事業		
① 総合福祉センター内共催		
(7) 交流七夕飾り	<ul style="list-style-type: none"> ・旧七夕の時期に、総合福祉センター入り口に設置する七夕飾りの作成及び飾り付け ・障害者、高齢者、児童対象 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回実施 ・30人参加
(4) 交流モルック体験	<ul style="list-style-type: none"> ・モルックを通じた交流の深耕 ・障害者、高齢者、児童対象 	<ul style="list-style-type: none"> ・3/28(木)実施 ・6人参加
② 児童センター・児童館共催		
(7) 出前児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出向き、普段来館が難しい方に向けた児童館事業の体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てサロンへ声掛けした
③ 他機関共催		
(7) 子ども映画会	<ul style="list-style-type: none"> ・映画を通じた情操の育みを目的に実施 ・美杉台児童館と美杉台地区行政センターの共催 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防のため不実施
(4) みんなの自習室	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援を目的に、学校教員経験者（ボランティア）の協力により実施 ・夏休み、美杉台児童館と美杉台地区行政センターの共催 	<ul style="list-style-type: none"> ・4回実施 ・延べ79人参加
(6) その他の取組み		
① 施設の管理、運営及び日常の危機管理		
(7) 施設利用者参加による消防訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導訓練、消火訓練などの実施（総合福祉センター・美杉台児童館ともに年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・美杉台児童館は美杉台保育所、美杉台地区行政センターと連携。 ・総合福祉センターは保健センターと連携して実施。 ・両施設とも2回ずつ実施。
② ネットワークの構築及び強化		
(7) 子ども、保護者等からの相談対応機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で研修や情報共有を行い、職員との相談対応スキルの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で、共有すべき利用者の情報を共有し、円滑な対応に努めた。
(4) 学校、子育て支援拠点、地域福祉団体等とのネットワークの構築及び強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校運営協議会や子育て支援拠点会議での情報交換の他、中学校や地域の福祉団体との情報共有に務め、ネットワークの強化に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美杉台小の学校運営協議会に館長が出席。 ・子育て支援拠点会議に出席

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
【地域福祉部門】		
≪地域福祉推進係≫		
(1) はんのうふくしの森プラン推進事業		
① 第3次はんのうふくしの森プランの進行管理及び第4次はんのうふくしの森		
(ア) 地域福祉活動計画推進委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次はんのうふくしの森プランの進行管理及び評価 ・第4次はんのうふくしの森プランの協議 ・開催回数：4回（6、8、10、12月） ・市と合同開催 ☆市と社協の役割明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：4回 ・委員構成（学識経験者・知識経験者）：15人 [主な協議事項] ・第3次はんのうふくしの森プラン令和4年度実績報告及び令和5年度実施計画 ・第4次はんのうふくしの森プラン素案
(イ) はんのうふくしの森プラン推進市民会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 6回（4、6、8、10、12、2月） ・”学びの場”の開催（3回程度） ☆継続して参加できる市民を増やし、市民主体の会議運営実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：6回 ・参加者：延べ64名 ・「学びの場」の開催 テーマ「移動交通」 参加者：60名 ※いずれも集合・オンライン併用による開催
(ウ) 飯能市地域福祉活動計画プロジェクトチームの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次はんのうふくしの森プラン策定の協議 ・重層支援体制整備事業の協議 ☆プロジェクトチームだけでなく、全職員が情報を共有できるようフォーラムの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生プロジェクトチームによる本会内における取組の協議 [主な協議事項] ・第4次はんのうふくしの森プランの策定について ・重層的支援体制整備事業に関する調査・研究及び準備について
(エ) 飯能市との定期的な協議の場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次はんのうふくしの森プランの協議 ・重層支援体制整備事業の協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯能市との協議検討の実施：32回 ・飯能市地域福祉計画庁内連絡作業部会に3回出席 ・本会職員勉強会：2回 [主な協議事項] ・第4次はんのうふくしの森プラン素案の検討 ・重層支援体制整備事業の実施体制
(オ) 圏域別地域福祉活動計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・CSW（SC）が中心となり、地区別地域福祉活動計画の策定。 ☆地区の懇談会を開催し、市民の声を反映させた活動計画の策定実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域別地域福祉活動計画策定委員会の開催 全圏域（一部圏域において、既存の会議体を活用） ・地区ふくし懇談会の開催 ⇒一部圏域は令和4年度実施 ⇒一部圏域はアンケート等の意見聴取で代用 ・圏域別ふくしの森活動計画の策定 全圏域にて策定完了

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
②	<p>はんのうふくしの森プランに基づく事業の推進</p> <p>(ア) ふくしの森サポーターの養成及び普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はんのうふくしの森みらいカレッジ（ふくしの森リーダー養成研修）の実施。 ・開催回数 1回（10月） ・ふくしの森サポーター向けの情報をインターネット（SNSやHP）で周知。 ☆年6回実施している市民会議参加者と連携強化。 <p>(イ) はんのうふくしの森プランの周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしの森プランクリアファイルの配布。 ・Ayamu機能を活用した周知。 <p>(ウ) 地域における公益的な取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人地域公益活動等連絡会の支援及び参加 ・定期総会の開催 1回（7月） ・幹事会の開催 4回（6、9、11、3月） ☆事務局負担軽減のため、加盟法人と事務局の役割明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・はんのうふくしの森みらいカレッジ（ふくしの森リーダー養成研修） 開催日程：10月28（土）、29（日）日 ※市民会議参加者へ実践報告の協力及び事業参加への声掛けを行った。 参加者数：13名 修了者数：11名 リーダー登録者数：8名（通算：25名） ・SNS及びHPによる周知 取組情報 助成情報等 ・ふくしの森プランクリアファイル配布 ・社会資源情報の発信 本会HPに掲載開始 [会議開催の支援] ・幹事会：6回 ・定期総会：1回 [事業実施の支援] ・あったか♡バンク飯能（生活に困っている方を対象に食品や日用品等を無償提供） ：1回 ・福祉学習への協力 小学校：3校 飯能市新規採田職員研修：1回
② コミュニティソーシャルワーク事業		
①	<p>① コミュニティソーシャルワーク機能の強化</p> <p>(ア) CSWの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSWを増員(9名⇒10名) ☆重層的支援体制整備事業の検討の中で、更なるCSWの増員に向けて市と協議 ・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（主催：日本地域福祉研究所）をはじめ、CSWの資質向上を目的とした研修会へ参加 <p>(イ) ふくしの森ステーション機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆CSWの増員に合わせたふくしの森ステーションの増設（飯能中央地区を予定） ・車いすちょい貸し事業の実施 <p>(ウ) コミュニティソーシャルワーカー及びふくしの森ステーションの周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしの森ステーションだよりの紙面の充実及び定期発行 ・コミュニティソーシャルワーカー及びふくしの森ステーションの情報をインターネット（SNSやHP）で周知 ・本会と関わりのある会議やイベント、共募事業などでオリジナルクリアファイルを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWを10名に増員（うち1名は産休） ☆体制強化に向け市と協議し、次年度常勤職員1名増（非常勤1名減）にて調整 ・CSW活動状況（資料編P12～参照） ・CSW相談対応件数459件（資料編P19参照） ・CSW実践者養成研修の受講（Step1：1名 Step2：2名） ☆新規増設を予定していたが、休業職員があったため設置を見送り ・車いすちょい貸し事業利用件数 7件 ・ふくしの森ステーションだよりの発行 かじ（回覧）：6回 みすぎだい（回覧）：6回 みなみこま（全戸）：6回 あがの（全戸）：6回 ひがしあがの（全戸）：6回 はらいちば（回覧）：6回 なぐり（全戸）：12回 ・ふくしの森ステーションだよりをHPに掲載するとともに、各圏域共通の記事をSNSで発信 ・オリジナルクリアファイルの配布の継続

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(I) 相談支援機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携会議の実施 ・ひきこもり相談事例検討会（飯能市共催/年2回） 対象：ひきこもり相談に係る関係機関 ・福祉なんでも相談会（試行実施）（飯能市/包括はちまん/すこ福はちまん共催/年4回） 実施地区：吾野/東吾野 ☆より多くの地区での地域連携会議の実施 ☆重層的支援体制整備事業における地域連携会議の位置づけの明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携会議の実施 実施地区：6地区（飯能中央、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗） ・ひきこもり相談支援研修会：2名 ・ひきこもり専門相談事例検討会：5名 ・ひきこもり支援研修会（市と共催）の開催：1回 ・福祉のなんでも相談会の開催 開催地区：2地区 吾野、東吾野 開催回数：8回 参加人数：延べ47名（うち相談件数：17件）
② 地域福祉推進組織の支援		
(ア) 地域福祉推進組織の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWによる技術的支援の実施 ・補助金交付による財政的支援の実施 ☆地区別地域福祉活動計画の策定支援（ウィズコロナを踏まえた取組を盛り込む。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・CSWによる技術的支援（会議開催の支援、新規活動の立ち上げ支援、イベントや研修会等の開催支援、運営事務等） ・補助金交付による財政的支援：7組織（計3,135,285円） （資料編P20参照） ・圏域別地域福祉活動計画の策定等の支援
(イ) 地域福祉推進組織交流会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 2回 ☆各組織の代表者を中心とした情報交換会 ⇒地区別地域福祉活動計画に関する情報交換も含めて実施（可能な限り集合型での実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回/7月27日（木） 参加者数：7名 ⇒代表による意見交換 ・第2回/1月31日（水） 参加者数：14名 ⇒テーマ別の意見交換
(3) 小地域福祉活動推進事業		
① 静かな見守り活動の推進		
(ア) 静かな見守り活動の実施（各地区民生委員児童委員協議会共催）	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回見守り協力員への啓発品の配布 ☆民児協地区定例会にCSWが出席し、民生委員との連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り対象者リスト掲載件数：490件 ・助成金交付：3地区（31,392円） ・見守り協力員に対する事業啓発品の配布：年2回（計633個） ・地区民生委員児童委員協議会定例会への出席
② 地域の居場所づくりの推進		
(ア) ふれあいいきいきサロンの開催・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい・いきいきサロン事業に登録済みの団体を対象に事業費の交付。 ☆地区のCSWがサロンを訪問し、サロン運営状況の確認及び情報提供の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体数：14団体 ・参加総数：3,763人 ・事業費交付額：411,000円
(イ) 地域型ふれあい食事会の開催・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体に対し、地域福祉推進事業費の交付。 ☆地区のCSWが食事会を訪問し、運営状況の確認及び情報提供の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流カレー食堂の開催（（福）名栗園共催） 開催回数：10回 参加者数：164人 ・笑顔のカレーの会（同会共催）の開催 開催回数：7回 参加者数：127人

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)	
③ 生活支援活動の推進	(7) 移動販売事業の実施 共催：セブン・イレブン日高下川崎店	<ul style="list-style-type: none"> ・1精明・中山コース、②名栗・原市場コース、③中沢・中藤コース、④吾野コース、⑤南川コース、6岩沢コースの全6コースで実施。 ☆CSWが移動販売に同行し、市民ニーズを把握。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催数：127回 ・利用者数：4,776人 (前年比 15.6%増) (資料編P22参照) ・燃料代一部負担 105,500円
	(4) 食材のおすわけ会の開催・支援（生活クラブ生協飯能支部共催、その他企業等の協力により実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 12回（毎月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：12回 ・延利用世帯：675世帯 月平均 56.25世帯 前年比 45%増 ・主な食糧寄付者 生活クラブ生協飯能支部/ホンダカーズ埼玉西東飯能店/SOMPOケアラヴィーレ/飯能市社会福祉法人地域公益活動連絡会/飯能市役所/市民
(4) 福祉教育推進事業			
① 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業の実施			
	(7) 社会福祉協力校・ボランティア推進校指定事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付 ・福祉教育担当者説明会の開催 ☆本会と教育センターとの連携強化 ☆地区担当CSWと学校の連携強化。 ☆新しい福祉学習プログラムの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付 社会福祉協力校 6校 170,000円 ボランティア推進校 2校 11,718円 ・福祉教育担当者説明会（教育センター共催） 令和6年2月6日（火） 小学校 10校 中学校 7校 埼玉県社協職員による講義等 [支援内容] プログラム作成 ゲストティーチャー調整 体験指導及び用具貸出 ほか
(5) 生活支援体制整備事業（飯能市受託事業）			
① 第2層における取組			
	(7) 話し合いの場（協議体）の設置及び開催（13圏域）	<ul style="list-style-type: none"> ・対象 市民、地域活動団体、事業所等 ・生活支援コーディネーターが中心となり、第2層協議体の立ち上げ及び運営 ・新たな地域活動の創出、地区別地域福祉活動計画の策定等 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場の実施圏域数：13圏域 うち、第2層協議体にて実施：10圏域 うち、地域福祉推進組織にて実施：3圏域 ・主な協議内容 圏域別ふくしの森活動計画の策定について（全ての圏域で策定完了）
	(4) 地域支え合い活動の推進及び支援	<ul style="list-style-type: none"> ☆近隣市町の生活支援コーディネーターとの情報交換の機会として実施 ☆訪問型サービスBを含め、テーマ別の交流会を実施（第1層協議体やはんのうふくしの森プラン推進市民会議学びの場等で実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・前橋市・鶴ヶ島市・飯能市交流会の開催

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	<p>② 地域包括ケア支援システムの運用</p> <p>(7) 地域包括ケア支援システムの運用</p>	<p>・市からの委託のもと、カシオ計算機（株）と契約の上、システムを利用</p> <p>☆職員一丸となって掲載情報を充実させる</p> <p>・居宅介護支援事業所等の関連事業所へも同システムの利用について案内</p> <p>・掲載件数 338件 (3月末現在)</p> <p>[内訳]</p> <p>相談窓口 29件 介護施設 48件 医療機関 94件 地域交流 126件 生活支援 16件 移動支援 4件 ボランティア団体 13件</p> <p>・掲載情報の随時更新及び充実</p> <p>・社会資源情報の一部一般公開の開始 (令和6年1月～)</p>

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
【地域福祉部門】		
《生活支援係》		
(1) ボランティアセンター運営事業		
① ボランティア・市民活動支援事業		
(ア) ボランティアセンターの運営	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針に沿った事業の展開。 周知に重点を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア相談 ニーズ 21件 活動相談 57件 その他 1件 ボランティア団体紹介ブックの作成及び配布 依頼に基づき、高校1回、大学2回ボランティアについて説明会を実施
(イ) ボランティアセンター運営委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 新体制での活発な意見をいただき協働した事業運営を目指す。 年3回開催 	実施回数：3回 (8月28日(月)/11月20日(月)/3月11日(月)) [主な協議事項] <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画 ボランティア講座 ボランティア交流会 令和6年度事業計画(案)
(ウ) ボランティア交流会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会主体での開催 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体交流会 開催日：3月4日(月) 対象：ボランティアセンター登録団体 参加者数：27人(15団体) 内容：団体間の連携づくりを目的とした意見交換
(エ) ボランティア・しみん活動・ちいき情報「JOYJOY」の発行(毎月)	<ul style="list-style-type: none"> 新たなレイアウト変更と配布方法での周知を実施 年1回全戸配布 	発行回数：12回(毎月) 掲載内容：ボランティア募集情報/助成金情報/トピックス その他： <ul style="list-style-type: none"> タイトルデザインと見出しの刷新 HP、SNSにて併せて発信 広報はんこの同時配布物削減のため全戸配布は中止

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② ボランティア育成事業	(ア) 彩の国ボランティア体験プログラムの実施 ・メニュー数については20事業を予定。 ・周知方法については、6月1日号広報はんのうと同時配布による全戸配布。 ・学校については従来どおり児童数にて配布。	企画メニュー数：20 実施メニュー数：17 受入先の都合で1メニュー中止、2メニュー申込なし 延べ参加者数：114人（資料編P28参照） ・広報はんのうの同時配布物削減のため全戸配布中止 ・市内小、中学校、高校に児童・生徒数分チラシを配布
	(イ) 各種ボランティア講座の開催 年2講座開催（食品衛生管理講座、ボランティア入門編をjoyjoy全戸配布時に募集する。）	・食の安全基礎講習会 開催日：7月6日（木） 参加者数：18人（会場：12人/オンライン：6人） ・いちからはじめるボランティア講座 開催日：2月16日（金） 参加人数：19人
	(ウ) 共学支援ボランティア講座の開催 共催：狭山特別支援学校/狭山市・入間市・日高市各社会福祉協議会	・周知方法の変更により、本市からの参加者を募る。 開催日程：5～7月 全5回（うち1回中止） 参加人数：6人（うち、本市より1人） 内容：特別支援校における授業体験等
	③ 災害に向けた取組 (ア) 災害ボランティアセンター設置及び運営訓練の開催	・通常の運営（流れ）とその中にアクシデントやトラブルを想定したシナリオを作成し、各班での対応を検証する。（アクシデントは担当と担当係のみ把握） 実施日：10月22日（日） 対象：本会職員（非常勤CSW含む） 内容：豪雨災害を想定した災害ボランティアセンターの立上げ及び運営方法の模擬訓練
(2) 外出支援（福祉移送サービスカー）事業		
① 福祉移送サービスカー貸与事業の実施		
(ア) 福祉移送サービスカー貸与事業の実施	・福祉車両の貸与の実施 ・車両運転士の派遣	・継続実施 ・利用登録者数 49人（うち、喪失届受理 8人） ・利用回数 176回（内訳） ・きらめき号 60回 ・こじか号 116回 ・運転士派遣回数 129回

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(3) たすけあいサービス事業		
① ヘアカットサービス事業		
(ア) ヘアカットサービス事業の実施	・ 飯能日高利理容組合及び飯能日高美容組合と共催実施 ・ 登録者は、年4回訪問カットサービスの利用が可能	・ 59人登録 (うち12人喪失) ・ 利用回数延べ87回
② ひとり親家庭支援事業		
(ア) ひとり親家庭支援事業の実施	・ 新規協力店舗の募集を広報のみでなく戸別に声掛けも行う。	・ 新規協力店を広報はんので募集したが反応無し。直接声掛けし1店舗増。 ・ クリスマス時期に実施。対象を「児童扶養手当受給資格のある世帯」に限定したため対象外となった世帯、逆に新たに対象となった世帯がある。申込数は半減したが、「ひとり親世帯」であることの確認ができたため、事業の実施目的に応じて対象を限定することが出来た。 ・ 申し込み世帯78世帯
③ フードバンク事業		
(ア) フードバンク事業の実施	・ 就学支援事業を受けている中学生の居る世帯に対して郵送にて食糧を提供する。	・ 助成金を受けて就学援助制度利用世帯のうち、食品提供を希望する世帯へ宅配便で配布した。 ・ 6校91世帯。 ・ 困窮世帯への対応は、事業要綱に沿って実施している。 ・ 59世帯にフードバンクの食料を配布
(4) 歳末たすけあい義援金配分事業		
① 歳末たすけあい義援金配分事業		
(ア) 歳末たすけあい義援金配分事業の実施	※事業目標シートによる。	・ 非課税世帯 150世帯 (3世帯辞退) ・ 遺児 19人
(5) 経済的支援事業		
① 低所得世帯生計援助資金貸付事業		
(ア) 低所得世帯生計援助資金貸付事業の実施	・ 世帯50,000円の貸付	・ 貸付件数：13世帯。 ・ 貸付額：545,000円。 ・ 経済的支援に関する相談が増加。
(イ) 償還指導の充実による自立支援	・ 償還指導と督促の実施	・ 生保つなぎでの利用が多く、生保CW並びに民生委員との連携、協力により確実に一括償還していただくことが出来ている。
② 生活福祉資金貸付事業		
(ア) 生活福祉資金貸付事業の実施	・ 県社協受託事業	・ 新規貸付件数10件 ・ 経済的支援に関する相談が増加。ただし、貸付に至らないケースが多い。
(イ) 償還指導の充実による自立支援	・ 償還指導と督促の実施	・ 2回実施
(ウ) 特例貸付償還猶予延長申請に伴う面談等、償還事務	・ 借受人との面談または、電話での聞き取り ・ 償還に関する問い合わせへの対応	・ 借受人の償還開始時期に応じて対応している。
③ 彩の国あんしんセーフティーネット事業		
(ア) 関係機関との連携強化	・ 相談員との連携	・ 1件対応
④ 相談機能の強化		
(ア) 事例検討会の実施	・ 月1回の開催	・ 不実施

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(6) 権利擁護事業		
① 福祉サービス利用援助事業 (あんしんサポートねっと)		
(ア) 福祉サービス利用援助事業の実施	・県社協受託事業	・契約件数22件。
(イ) 生活支援員連絡会の開催	・年1回の開催	・R6.3に支援員連絡会を実施。事例を通して、支援員・専門員の関わりや関係機関との連携について情報を共有した。
(ウ) 福祉サービス利用援助事業の周知	・ホームページ等による周知	・社会福祉士連絡会にて事業説明等を行った。
② 法人後見事業		
(ア) 法人後見事業の実施	・後見人等の受任	・3月末契約件数19件。
(イ) 法人後見運営委員会の開催 (年4回)	・年4回の開催	・4回実施 (全てリモート開催)。本会法人後見事業における受任のあり方 (受任要件等) について検討した。
(ウ) 後見支援員のスキルアップ研修の実施	・年1回の開催	・後見支援員研修会への出席 (県社協実施) ・R6.3に支援員連絡会を実施。事例を通して、支援員・専門員の関わりや関係機関との連携について情報を共有した。
(エ) 法人後見事業の周知	・ホームページ等による周知	・広報はんのうに記事を連載。(全3回) ・地域包括支援センター社会福祉士連絡会にて事業説明等を行った。
③ 成年後見推進事業の実施 (市受託事業)		
(ア) 市民後見員養成講座 (実践編)	・市受託事業	・開催日:【座学】1/13(土)、27(土)、28(日) 【体験実習】2月~3月中旬予定 ・申込者:9名 ・申込者9名全員が「飯能市市民後見人候補者名簿」に登録。
(イ) 市民後見人フォローアップ講座の実施	・年1回の開催	・開催日:12/16(土) 午前11時~正午実施。 ・参加者:23名
④ 成年後見支援センター事業の実施 (市受託事業)		
(ア) 成年後見相談会の開催	・年1回の開催	・3/22(金)開催。 ・相談枠3枠中3組の相談を受けた。
(イ) 成年制度に関する周知及び啓発	・ホームページ等による周知	・本会のホームページがリニューアル。 ・阿須フレンドワーク保護者会の成年後見研修の開催を支援
⑤ 市民よろず相談事業の実施		
(ア) 市民よろず相談の開催	・毎月1回 (原則第3水曜日) の開催	・計画通り、毎月第3水曜日、年12回開催した。

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
<<介護支援係>>		
(1) 居宅介護支援事業 (けあ・しゃきょう)		
① 居宅介護支援事業の実施		
(ア) 居宅介護支援事業	・居宅介護支援事業の実施	・請求件数合計1,366件 ・特定事業所加算Ⅱの継続
(イ) 介護予防支援事業 (受託)	・受託事業の継続	受託事業の継続 ・合計34件
(ウ) 介護予防ケアマネジメント事業 (受託)	・受託事業の継続	受託事業の継続 ・合計12件
(エ) 質の高いケアマネジメントの提供及び安定した事業所運営の継続に向けた取組	・職員研修の充実により質の高いサービス提供と事業所運営指針に沿った事業所運営	研修会への参加 地域ケア会議への参加 認定調査の実施 (10月～3月 月5件)
② 地域貢献の取組		
(ア) 支援困難高齢者の受け入れとケアマネジメントの提供	・地域包括支援センター等関係機関と調整のうえ受け入れを行う。	・山間地域の受け入れ 5件 ・ターミナルケアの受け入れ 6件 ・困難事例の受け入れ 9件
(イ) 飯能市介護支援専門員協議会実行委員会・防災分科会への参加及び協力	・職員の参加継続	飯能市CM協議会主催 7回・延べ19人参加 (権利擁護) 1回・5人参加 (ケアマネサロン) 3回・延べ10人参加 (介護サービス事業協会) 1回・延べ4人 (その他) 7回・延べ15人

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
【地域福祉部門】		
≪地域包括支援≫		
(1) 基幹型地域包括支援センター事業（飯能市受託事業）		
① 地域包括支援センターの後方支援		
(ア) 処遇困難事例の対応支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 ☆市や地域型地域包括支援センターと連携を取り、適切かつ迅速な対応を支援する。 ☆対象者の安全を守るとともに、自立支援を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹型地域包括支援センターに寄せられた相談について地域型地域包括支援センター、市役所及び関係機関と連携し、対応した。相談件数201件（実人数）
(4) 地域包括支援センター職員への技術的助言、業務指導、研修等の企画、実施の協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域型地域包括支援センターへの後方支援 随時 ・ 地域包括支援センター連絡会 開催 年5回 ☆事例に対する技術的助言をはじめ、各種事業の開催及び運営支援を行う。 ☆地域包括支援センター連絡会を開催し、情報共有及び資質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年5回 開催 ・ 事例検討や外部講師（飯能市消費生活相談員）を招き、地域包括支援センター職員のスキルアップを図った。
(9) 各地域包括支援センターチームミーティング等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週1回～月1回程度 参加（地域型地域包括支援センターによって異なる） ☆各担当者が参加し、事例及び各種事業の進捗状況等について情報共有を図る。 ☆事例や各種事業に対して、技術的助言を含めた後方支援を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加回数 合計53回（いなり町12回、さかえ町9回、みなみ町20回、はちまん町12回） ・ 事例及び各種事業の進捗状況について共有するとともに、協議を行った。
(イ) 各在宅介護支援センター実態把握受領会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回 参加 ☆在宅介護支援センター職員による訪問内容の情報共有を図る。 ☆地域における実情や地域課題を把握し、地域包括ケアシステム構築に向けた取組みに繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加回数 合計36回（在宅介護支援センター太行路12回、在宅介護支援センター吾野園12回、在宅介護支援センターはらいちば12回） ・ 訪問内容について情報共有を行うとともに地域課題の把握を行った。
② 介護予防・生活支援サービスの充実		
(7) 自立支援型地域ケア会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年12回（事例提供数：36件 モニタリング数：24件） ☆多職種が協働して個別ケースの支援内容を検討することによって、高齢者の課題解決を支援するとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める目的で開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援型地域ケア会議とその後に行う評価を保険者と各地域包括支援センターと実施した。 実施回数12回、事例提供36件、モニタリング24件 ・ アドバイザーである専門職と自立支援型地域ケア会議検討会（年2回）を実施した。
(4) 地域課題型地域ケア会議への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 ☆地域型地域包括支援センターが主催する地域課題型地域ケア会議に参加し、地域の課題解決に向け必要な社会資源の創造し、飯能市版地域包括ケアシステムを実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加回数 合計5回（いなり町1回、さかえ町1回、はちまん町3回） ・ 地域の課題に関して取組み方法等について協議した。
(9) 介護予防事業への支援（むーまワクワク体操、ごきげん体操、介護予防サポーターとの協働等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 ☆地域型地域型地域包括支援センターが行う介護予防事業について、円滑に実施できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健師、看護師職種会議において、介護予防事業を評価するための方法について研究した。（アンケート調査）

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
③ 認知症施策の推進	(7) 認知症地域支援推進員連絡会への参加 ・年12回 ☆認知症支援のための事業の実施に向けて、検討や企画を行う。	・認知症地域支援推進員連絡会への参加（月1回・12回） ・「認知症ケアパス」の改訂に関する部会への出席 ・介護保険事業計画（第8期）認知症施策の検討や事業を企画・提案をした。
④ 在宅医療・介護の連携	(4) 認知症初期集中支援事業の実施及びチーム員との連携 ・認知症初期集中支援チーム員会議 参加年12回 ・チーム員との連携 随時 ☆事業を迅速かつ円滑に進めるための調整を行う。	・認知症初期集中支援チーム検討会議への参加（年2回） ・認知症初期集中支援チーム員会議への参加（年12回） ・本事業が円滑に運営できるようチーム員との調整を図った。 新規ケース16件
⑤ 第1層における取組	(7) 多職種連携座談会 飯能・日高地区ワールドカフェの事務局として役員との協働によるワールドカフェの計画及び実施 ・役員会 開催 年6回 ・部会 開催 年数回 ☆飯能市及び日高市の医療と介護の専門職の「顔の見える関係」づくりを目的に、各種事業の計画及び実施支援を行う。	・役員会の開催（奇数月）実施回数6回 ・部会の開催（不定期） ワールドカフェ部会 実施回数6回 市民フォーラム部会 実施回数7回 ・第9回市民フォーラム「在宅医療を知っていますか？」をテーマに映画上映を行った。 参加者190名
	(4) 医療・介護関係者の研修の企画・協力 ・ワールドカフェ 開催 年2回（予定） ☆多職種連携座談会飯能・日高地区ワールドカフェにおいて企画及び実施支援を行う。	・飯能市・日高市在勤の多職種を対象にワールドカフェ「多職種を知ろう」（Zoom）を開催した。 開催回数 2回 参加者数 合計 138名
	(7) 話し合いの場（協議体）の開催（6回） ・年6回 ☆市全域の課題を抽出し、解決方法（取組内容）を協議する。	・年6回実施。支え合い活動団体の活動を活性化する方法について協議した。
	(4) 支え合いの仕組みづくり ・随時 ☆訪問型サービスBを含め、テーマ別の交流会を実施（第1層協議体やはんのうふくしの森プラン推進市民会議学びの場等で実施）	・年2回「支え合い活動団体交流会」として実施。団体相互の活動状況の共有や意見交換を実施した。
	(9) 第2層の取組への支援 ・随時 ☆連携を強化し、具体的支援が実施出来るようにする。	・第2層及び市内各地で開催される「ふくしを話し合う会」等の進捗状況を共有した。

令和5年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
《係横断》		
(1) 広報啓発事業		
① 情報発信事業		
(ア) 社協だよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行回数 3回 (5、7、12月) ・印刷及び配布依頼 ・本会事業及び共同募金会事業のPR ・注目すべき地域活動の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・発行回数 (3回) ・発行部数 (各号29,000部) ・HP掲載 ・印刷業者が12月号から変更。印刷費が削減され、全面フルカラーに変更した。
(4) 社協ガイドブック2023 (詳細・概要)の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の配布を賄える量の余りがあったため、発行しなかった。
(9) インターネットを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・新ホームページの運用及び掲載情報の充実 ☆各部署の事業実施等の機会において、本会SNS (LINE、Facebook) を積極的に周知、拡散 ☆広報委員会の取組として、SNSで拡散すべき情報の収集、提案 ☆オンライン媒体の強みを活かし、写真や映像による周知の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・新ホームページの運用開始 ・SNSを活用し社協事業および共募活動の情報発信などを行った。 ・instagramアカウントの運用を開始した。 ・ホームページ及びSNSにて周知用ショート動画を掲載した。
(イ) 広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ☆広報委員会の役割及び目的の見直し ☆本会SNS (LINE、Facebook) の更なる活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報委員会開催回数 (4回) ※社協だよりの掲載内容、広報活動で使用する用語の統一、SNSの運用について協議した。
② 飯能市社会福祉大会の開催		
(7) 社会福祉功労者表彰	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰式の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月25日 (日) 午前実施。 ・6団体 62名受賞